

サワギキョウ

Lobelia sessilifolia Lamb.
キキョウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】－

選定理由

開発等湿地環境の変化で減少している。

分 布

北海道～九州に分布。県内では若狭町、美浜町、敦賀市、越前町、あわら市、越前市、池田町での記録がある。

種の特徴

山野の日当たりの良い湿地に生える多年草。茎は直立し、高さ50～100cm、分枝しない。茎は無毛で、傷つくと白い乳液を分泌する。葉は互生し、葉柄はなく長さ4～7cm、細かい鋸歯がある。花期は6～10月、茎の上部に総状花序を出し、濃紫色の花を多数つける。

生育を脅かす要因

湿地開発、埋め立て、遷移進行。

参考文献 福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○		○	○		○			○	○				

イワイチョウ

Nephrophyllidium crista-galli (Menzies ex Hook.) Gilg subsp. *japonicum* (Franch.) Yonek. et H. Ohashi
ミツガシワ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：－

【環境省カテゴリー】－

選定理由

産地に限られる。園芸目的に採取される可能性もある。

分 布

北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では奥越にのみ分布する。

種の特徴

亜高山帯の湿地に生える多年生草本。高さ15～50cm。葉は腎円形、直径3～8cm、細かい鋸歯がある。花期は7～8月。花は集散状につき、白色、直径約1cm。花冠は5深裂し、縁に波状のしわがある。

生育を脅かす要因

産地局限、園芸採取。

参考文献 清水建美ほか（2014）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

ミヤマオトコヨモギ

Artemisia pedunculosa Miq.
キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：－

【環境省カテゴリー】－

選定理由

本県では生育地に限られている。

分 布

国内では本州中部地方の亜高山～高山帯に分布する。大野市。

種の特徴

砂礫地に生える。茎の高さ20～40cm程、茎葉は細いくさび形で長さ2～4cm、先の方は数個の歯状の裂片となる。茎の中ほどより上部の葉腋に1～2個の頭花を下向きにつける。頭花は半球形で径5～8mm、総苞片は3列、各片はほぼ楕円形、縁は膜質。

生育を脅かす要因

登山道の整備、踏圧等。

参考文献 福井県植物研究会（1997）、奥山春季（1966）、清水建美（2014）、加藤雅啓・海老原淳（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	